

平成19年度

ふじむらさき

平成19年4月20日

諫高だより

藤紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

4月号

953人の日々たゆまぬ練磨

校長 石部邦昭

雨垂れ石を穿(うが)つ

平安時代に明詮(みょうせん)という若い僧がいた。真剣に仏法の学問と修行に打ち込んでいたが、悟りを開けずあきらめて、寺を後にした。寺を出たところで、にわか大雨が降ってきた。やむなく近くの小屋に腰掛け雨の止むのを待った。なにげに屋根に目をやると、雨だれがぼたぼた落ちていた。落下する水滴を目で追うと、地表の石にぶつかって「ぱっ」と砕け散っていく。次から次へと。

「おや、石が窪(くぼ)んでいるぞ」確かに雨垂れのところだけ窪んでいる。「硬い石にどうして、その部分だけ窪んでいるのだろう」雨垂れの仕業だ。しかも毎日、雨が降るはずがない。ほんの数ミリの窪みを作るのに何年かかっているのだろうか。

「柔らかい水滴が、硬い石を砕いて最後には、へこませてしまう」
「そうだ、自分は2年や3年の努力でへこたれて断念したが、この水にも恥ずべき横着者であった。たとえ水のような力のない自分でも、根気よく求めてゆけば必ず魂の解決ができるに違いない」
明詮は、雨垂れから受けた大説法を師匠に話し、深く己のあさはかさを詫びたという。前にも増して真剣に努力した明詮は、後に「音羽の明詮」といわれる立派な僧になった。

鍛錬は千日の行、勝負は一瞬の行

私がまだ青年教師の頃、密かに甲子園を目指していた時があり、その頃あこがれていた監督がいた。その人は、当時「攻めダルマ」の愛称で呼ばれていた徳島池田高校の野球部監督 蔦文也氏である。彼のチームは、「さわやかイレブン」「山びこ打線」などと言われ、豪快な打撃で「あれよあれよ」と強豪校を破っていった。春夏合わせて通算14回出場し、全国制覇3回ははじめ、準優勝2回、通算37勝を甲子園であげた。その強さはもとより、同じ社会科教師で、そして甲子園に初めて駒を進めたのが監督就任20年目という苦労人という点で私の心を惹きつけた。「あの蔦監督も20年かかった。自分もそのうち・・・」。

蔦監督と「同じレベル」で、「そのうち」なんて厚かましく考えた当時の私をただ恥じるばかりだが、情熱と気迫は誰にも負けていなかったし、生徒と共に戦った日々は充実し誇れるものであったと今でも思っている。

その蔦監督が使った言葉に、「鍛錬は千日の行、勝負は一瞬の行」というのがある。この解釈は「鍛錬を千日積んでも、勝負は一瞬にしてついでに油断するな」とも取れるし、「一瞬の勝負のためには、千日もの修業、鍛錬が必要である」とも取れる。蔦監督の場合、20年という歳月は、「千日の行」というより「万日の行」でもあった。そう言えば、宮本武蔵の『五輪書』に「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」があり、稽古に稽古を積み重ねることの大切さを説いている。

メキシコオリンピックで銀メダルを獲得したマラソンの君原健二選手は、チームメイトと一緒に練習するときには必ずアウトコースを走ることを心がけたという。長崎県出身で第50代横綱佐田の山も「人が10番稽古したら自分は20番する、人が朝5時に起きたら自分は4時に起きて稽古する。」とたゆまぬ練磨の大切さを私達に教えてくれた。

自分を磨く

諸君達の高校3年間は、将に「千日の行」である。油断することなく日々地道に努力し、「雨垂れ石を穿つ」精神で根気強く取り組みたい。師弟同行のもと、953人の日々たゆまぬ練磨こそ今求められている。

ようこそ諫早高校へ！

◆新入生編◆

～第62回生入学式～

3月に総合選抜最後の59回生を送り出したのもつかの間、新しく諫早高校第62回生の入学式が4月8日(金)に行われ、希望を胸に抱いた320名の新入生を暖かく、盛大に迎え入れました。式の中では**1年8組の中島広大君**から誓いの言葉、そして**1年5組の後田真弥さん**からは力強い新入生挨拶が述べられ、諫早高校の未来を創る若者としてのスタートを切りました。

真新しい制服に身を包んでの入場を見ていた新2・3年生の気持ちは、自分たちの昨年・一昨年の自分の姿を重ね合わせていたのか、暖かい眼差しをしていたように映りました。また、新入生から見た上級生は、自分たちよりも落ち着きがあり大人っぽい印象を受けたことでしょう。この先、1年生も様々な経験を積み、どこから見ても申し分ない諫早高校生として見られるように成長することと思います。

体育館への入場の様子

新入生代表宣誓をする中島広大君



「志(こころざし)」をもって 日々を過ごそう！

新入生代表挨拶をする後田真弥さん

心のこもった歓迎のエールを送る本校応援団



ようこそ諫早高校へ！◆先生編◆

～新任・転任職員紹介～

今年も新たに、14名の新転任の職員をお迎えしました。諫早高校にとっては大変必要かつ強力な先生方です。ここに各先生方の簡単な紹介をしたいと思います。

氏名	担当教科	氏名	担当教科
石部邦昭校長先生	地歴公民	佐藤健一先生	数学
石見茂教頭先生	理科(化学)	小柳智先生	保健体育
村松喜彦先生	保健体育	小佐々武先生	英語
平田愛子先生	家庭	峯悦子先生	国語
田中健司先生	国語	亀塚藍先生	事務
藤田洋介先生	保健体育	小原千明先生	事務
嶋藤慶太先生	数学	北村美紀子先生	事務

この春、諫高生はみんな元気です！

～部活動各種大会結果～

●平成18年度長崎県高等学校春季テニス競技中地区大会【テニス部】

《男子シングルス》

第3位 吉川貴司(2-7)

《女子シングルス》

第3位 為田あすか(3-6)

《女子ダブルス》

優勝 為田(3-6)・西村(3-7)

●平成18年度長崎県高等学校中地区新人大会弓道競技大会【弓道部】

《男子団体》

優勝 諫早高校Dチーム

《男子個人(1年)》

優勝 海見亮吾(2-6)

第2位 金原幸誠(2-7)

《男子個人(2年)》

第3位 馬場弦紀(3-3)

●平成18年度長崎県総合文化祭美術展【美術部】

優秀賞 峰多可子(3-1)

優良賞 増田愛菜(2-2)

●第5回長崎県中地区放送コンテスト【放送部】

《朗読部門》

準優勝 馬場由季(2-7)

第3位 武藤杏里(2-1)

《アナウンス部門》

優良賞 原奈菜美(2-5)

優良賞 末次香織(2-5)

♪歌った踊った、文化部合同祭#

去る3月18日(日)、諫早文化会館にて第8回諫早高校文化部合同祭が行われました。諫早高校の文化部が一堂に会して日頃の練習の成果を発表、生徒・保護者・OBの方をはじめ諫早市内外から800人以上の観客を諫高生の歌声・演奏・演劇・作品・お点前などで魅了しました。

当日行われた内容は以下の通りです。

【大ホール】①演劇 ②コーラス ③放送 ④ギターマンドリン ⑤吹奏楽

【中ホール】美術・書道・写真・新聞・科学・英語・イラスト・文学・パソコン部の作品展示

【和室】茶道部



（左）Ohテリシャス！
ジャパニースタイーね★

（上）707-Aの展示の様子

（左）コーラス部の息のあった
ハーモニー



（上）吹奏楽部の「打！部隊」

（左）ギターマンドリン部のリズムカルな演奏

4・5月の行事予定

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 4/23(月) 総務委員長立会演説 | 13(日) 中間考査(全)・PTA総会 |
| 24(火) 任命式・各種委員会 | 14(月) 代休 |
| 26(木) 検尿2次(～4/27) | 15(火) 中間考査(全) |
| 27(金) 身体測定 | 16(水) 中間考査(23年) |
| 5/1(火) 交通講話 | 21(月) 新体力テスト |
| 2(水) 中間考査時間割発表 | 29(火) 高総体壮行式 |
| 10(木) 挨拶運動 | 31(木) 高総体代休 |